



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。

年末年始にはたくさんの雪が降り、寒さも一段と深まってきました。これからまだまだ寒さも厳しくなってきました。やまのこひろばの子どもたちは園庭に積もった雪で、さっそく雪遊びを楽しんでいました。新型コロナウイルス感染症も変異ウイルスの発生、感染者数の増加など、まだ安心できない状況が続いています。また今の時期は、インフルエンザや感染性胃腸炎にも注意が必要です。滋賀県内では、年末年始にかけてノロウイルス食中毒注意報が発令されていました。手洗い・うがい、換気などの予防に努め、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣を心がけて、健康管理に気をつけましょう。また、お子さんの体調でいつもと違う様子や、怪しい症状がみられたら、自己判断せずにかかりつけの医師に相談しましょう。その際は園にもお知らせくださいますようお願いいたします。かからない・うつさないためにも、みんなで励行しましょう。




感染性胃腸炎



感染性胃腸炎って？

ウイルスや細菌などに感染して起こる胃腸炎のことです。とくにウイルス性の胃腸炎は冬場の寒い時期に流行しやすいので気をつけましょう。



感染してしまったら？

水分・栄養補給を心がけ、下痢・おう吐による脱水症状に注意しましょう。感染者の便やおう吐物からほかの人にも感染するので、正しい処理方法で対処しましょう。

感染拡大予防のために

ノロウイルスなどの感染力が強い胃腸炎は、おう吐物や便で汚染された物や床、手などが感染源となります。また、アルコール消毒の効果が期待できないため、流水と石けんによる手洗いの徹底と、汚染物を正しく処理することが大切です。

子どもに多い感染性胃腸炎

☆ ノロウイルス ☆
乳幼児から成人まで幅広い層に起こります。潜伏期間は1~2日で、主な症状に、突然のおう吐・吐き気・下痢・腹痛・発熱などがあります。


☆ ロタウイルス ☆
0~6歳の乳幼児期にかかりやすく、重症化しやすいのが特徴です。潜伏期間は2~4日で、主な症状に、下痢(白っぽい水のような下痢)・おう吐・発熱・腹痛などがあります。※ロタウイルスは任意ワクチンがあります。

こんな時は医療機関へ

- ・意識状態が悪いとき
- ・けいれんなど、合併症が疑われるとき
- ・脱水症状がひどいとき
- ・症状が継続しているとき

1月の身体計測

7日(金) ひよこ組・うさぎ組 きりん組
11日(火) にじ組
12日(水) ほし組
13日(木) そら組



まだまだ インフルエンザに注意!

インフルエンザと診断された時は、医師の指示した登園再開日まで、家庭での療養が必要になります。再開の目安は、**発症後5日を経過し、かつ、解熱後3日(幼児の場合)を経過するまで**、になります。症状が改善されない場合や、判断に迷う場合は、かかりつけの医師に相談しましょう。

<出席停止期間>

水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日
発症	5日					登園可能
水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	月曜日	火曜日
		解熱	3日			登園可能

★最近の園内の様子

12月のやまのこひろばでは、おたふくかせや、流行性角結膜炎と診断されたお子さんがおられました。いずれも感染が広がることはなく、ほとんどのお子さんが毎日元気に登園することができました。

★12月の保健指導

<きりん組での取り組み>

きりん組では、自分で手洗いができるようになってきた子どもたちに、寒くて水が冷たくても手をしっかり洗ってほしいと考え手洗いについてのお話をしました。初めに怒った顔の手袋を手にはめて「手が怒ってるね。なんでかな?」といいながら裏側を見せます。すると、手袋の裏側が汚れていて「手が汚れてるから怒ってたんだね」と子どもたちに手が汚れていると気持ち悪かったりいやな気持ちを感じてもらえるようにお話をしました。そして子どもたちに「怒った顔の手をニコリ笑顔にしてあげるにはどうしたらいいかな?」と聞いてみると「手を洗う!」と元気に応えてくれました。そこで、「てあらいできるかな?」の絵本を読んで、手の甲や指先なども洗うことを伝え、その後子どもたちと一緒に実際に手を洗ってみました。まず袖をまくって泡石けんをつけ、手の平をゴシゴシしながら洗っていると「おてておこってないかな?」と心配そうに聞く子がいたので「きれいになったらニコリ笑顔になるよ」と伝えました。泡を流水できれいに流して仕上げにペーパータオルでしっかり拭いたら、一人ずつ順番に手を見せてもらいました。きれいになった手は石けんのいい匂いがして「ピカピカになったね」と子どもたちも気持ちよさを実感してくれました。その後、準備しておいたニコリ笑顔の手袋をつけて「きれいに洗えたから手がニコリになったよ」と見せました。子どもたちはとてもうれしそうに「おててニコリになったな~」と顔を見合わせてみんなで笑顔になりました。これからも手を洗うと気持ちいいことを感じながら、嫌がらずに手を洗う習慣を身につけてほしいと思います。

<ほし組での取り組み>

ほし組では、感染症の流行する時期になってきたので、「セキくしゃみエチケット」についてお話をしました。初めに、セキやくしゃみが出たときに口や鼻からカゼバキンやウイルスがたくさん飛び散ることを伝えました。そしていっただれくらい飛び散るのかを目に見えるようにバイキンに紐をつけて飛ばして見せました。紐の長さは、座ってお話を聞いているほし組の子どもたち全員にとどくほどの長さだったので、子どもたちはびっくり!その後、「飛び散らさないためにどうしたらいいかな?」と聞いてみると、「マスクする」や「手で口や鼻をふさぐ」、「腕で口元をふさぐ」などの方法を子どもたちは答えてくれました。さらに「その時に手がバイキンやウイルスで汚れたらどうしよう?」と言うと「手を洗う!」とすぐに答えてくれました。最後には、コロナだけでなく、様々な感染症に「かからない、うつさない」ために、みんながエチケットを守って、みんなで元気に過ごせるようにしようと約束しました。

<にじ組での取り組み>

にじ組では、「自分の体を大切にしたい!」気持ちと同時に「他の人の体も同じように大切に」という気持ちをもってほしいとの願いを込めて、担任からの要望で、プライベートゾーンについてお話をしました。夏のプールのときにプライベートゾーンについては話しているので、水着で隠している部分がプライベートゾーンということを確認しながら、プライベートゾーンはとても大切な体の部分だから自分で守らなければいけないことを、もう一度伝えました。そして、「自分のプライベートゾーンが守られれば、他の人のプライベートゾーンは大切にしないでいいのかな?」と聞いてみました。すると大きく首を振る子どもたち。その時一人の子が「お父さんのオシロイは触ってもいいで」と冗談多く言ったので、「お家の人はいいかもしれないけれど、お友達のお父さんやお母さんや大人のプライベートゾーンでも同じように触ったらダメなんだよ」と伝えました。すると、少しビックリした表情をする子もいましたが、ほとんどの子どもたちはわかっている様子でした。子どもたちは、自分だけでなく自分以外の人のプライベートゾーンも大切にすることを、言葉ではわかってはいるけれど、具体的にどういう行為がいけないことなのか、何を大切にしないといけないのかは、その場面に応じて大人が知らせていくことで、よりしっかりと理解していきけるのだと思います。ご家庭でもきっかけを逃さず、その都度お子さんについていっしょにお話してあげてほしいと思います。